

「重症心身障害医療」臨床研修プログラム

一週間コース

1. 概要

初期臨床研修の中で、重症心身障害医療についての研修を1週間コースで行う。

2. 運営

本プログラムの運営は、管理型臨床研修病院の卒後臨床研修管理委員会と研修協力施設である重症児者病棟を有する国立病院機構病院（以下、重症児者研修病院）の臨床研修委員会とにおいて審議の上、運営していく。

3. 臨床研修責任者

重症児者研修病院の臨床研修責任者

4. 指導医

重症児者研修病院の臨床研修指導医

5. 一般目標 (General Instructional Objective: GIO)

重症心身障害医療を理解し、その療育に必要な知識、技能、態度を学ぶ。

- 1) 重症心身障害医療の歴史・背景を学ぶ
- 2) 重症児者の基礎疾患の理解
- 3) 重症児者に起こりやすい症状、病態と対応の理解
- 4) 重症児者の日常的な医療処置の理解と技術習得
- 5) 療育におけるチーム医療の理解と体験
- 6) 在宅重症児者の生活を知り、支援としての医療を理解
- 7) 特別支援学校の障がい教育を知り、医療的ケアを理解
- 8) 重症児者への福祉サービスについての

6. 行動目標 (Specific behavioral objectives: SB0s)

- 1) 重症心身障害医療の歴史・背景についての講義をうけた
- 2) 重症児者の基礎疾患を列挙できる。
- 3)
 - ① 呼吸障害を部位ごとに分類できる
 - ② 呼吸障害への対応を説明できる
 - ③ 人工呼吸器の設定の基本を説明できる
 - ④ 関節拘縮・変形、脊椎変形がその他へ影響する関連を理解できた
 - ⑤ GERへの対応を説明できる
 - ⑥ 重症児者での栄養方法を説明できる
 - ⑦ 重症児者の必要栄養摂取量を理解し、算出できた
 - ⑧ 重症児者の栄養剤の特徴を説明できる
 - ⑨ 重症児者のてんかんの特徴を列記できる

4)

- ① 経管チューブの挿入を見学または施行できた
- ② 点滴を施行できた
- ③ 気管カニューレの交換を見学または施行できた

5)

- ① 以下の重症児（者）の看護・療養介助を体験できた
 - a 風呂の介助
 - b 食事介助
 - c 体位変換
 - d 清拭介助
- ② 重症児者に関わる他職種（看護師、PT、OT、ST、指導員、保育士、栄養士）の役割を理解できた
- ③ 重症児者への他職種の関わりを体験できた

6)

- ① 重症児者通園事業について理解または見学できた
- ② 重症児者のショートステイ事業について理解できた

7) 特別支援学校での医療的ケアを見学または理解できた

8) 重症児者の福祉サービスについて講義を受けた

7. 方 略 (Learning Strategies: LS)

- 1) 重症児者研修病院において、指導医の指導の下に診察、検査、治療などの診療を行う。
- 2) 重症心身障害医療の基礎知識の習得のために指導医のもと講義を受ける。
- 3) 重症児者に関わる他職種と連携をとりながら療育活動、在宅支援事業、特別支援学校を見学し体験する。

8. 評 価 (Educational Evaluation: EV)

- 1) 研修医の評価： 研修終了時に評価表に従って自己評価と指導医による評価を行う。
- 2) 指導医の評価： 指導医も自己評価と研修医による評価を行う。
- 3) 研修プログラムの評価： 研修医や指導医の意見を聞き、プログラムに問題が生じた時点で研修委員会を開催し、適宜修正を行う。

9. 研修内容

A 講義受講項目

- ① 重症心身障害医療の歴史・背景
- ② 重症児者の定義、基礎疾患
- ③ 重症児者に起こりやすい病態と対応（a 呼吸、b 消化器、c てんかん、d その他）
- ④ 重症児者のリハビリテーション
- ⑤ 重症児者の栄養管理
- ⑥ 重症児者の療育、在宅支援

B 経験項目

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 診療として | ①診察・診断、②リハビリテーション（肺理学療法も含む） |
| 療育として | ③療育活動、④食事介助、⑤入浴介助（呼吸器装着児） |
| 教育福祉関連 | ⑥特別支援学校見学、⑦通園事業見学 |
| その他 | ⑧家族面談 |

C 経験スキル

必須：①経鼻胃管・胃瘻チューブ挿入、②気切チューブ交換、③呼吸器回路交換、④身長測定、⑤必要加齢評価、⑥摂食嚥下評価、⑦摂食嚥下訓練

推奨：⑧採血・点滴、⑨口腔チューブ挿入、⑩鼻咽頭エアウェイ挿入、⑪気管支鏡検査、⑫胃食道24時間モニター、⑬脳波検査、⑭VF検査・VE検査

10. カリキュラム

最近の具体例（12/10～14）

	月	火	水	木	金
8:45～10	リエンテーション A① A病棟案内	B病棟案内 B①)	C病棟案内 C③	B①	B①
10:00～10:30	B⑦	B⑦	C①	B⑦)	B⑦
10:30～11:30	B③ 療育	B⑤	C①	B③ 療育	B⑤
11:30～12:00	B①	B②C⑥	B②C⑥		B②C⑥
12～13	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13～14	B①	A②	B①	A③b	A③d
14～15	B③ 療育	B⑥	B③ 療育	A④ B②	
15～16	A⑤	A⑥	B①	B②	
16～17	A③b	B①	A③c		総括
17:00～17:15	まとめ	まとめ	まとめ	まとめ	

11. 指導体制

- 1) 総括： 臨床研修責任者
- 2) 診療： 指導医、看護師長、リハビリスタッフ
- 3) 療育： 指導室長、主任保育士
- 4) 在宅： 指導室長、担当看護師

臨床研修フィードバック
「重症心身障害医療」一週間コース

研修医氏名

管理型病院名

研修期間 年 月 日～ 年 月 日

1. 経験した内容
2. 経験項目・経験スキルの達成度 (%)
3. 達成できなかった項目・スキル
4. 自己学習したトピックス
5. 印象に残った出来事
6. 自己評価できる点
7. 自己反省点
8. 指導側への要望
9. その他

研修終了後に〇〇までコピーして提出してください。

研修記録

「重症心身障害医療」一週間コース

平成 年 月 日 () 曜日

研修医氏名

管理型病院名

本日実施したこと

午前	午後	夕方 ~ 夜

今日新しく気づいた、できた、やった事	今日うまくいかなかった事
今の気持ち、感情	今後研修したい内容、願望

その他

日作成してください。研修終了後にコピーして〇〇まで提出してください。

国立病院機構東長野病院